

令和6年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

| | 視点 | 4年間の目標 (令和6年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|--------------|---|--|---|---|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 | 教育課程 学習指導 | <p>①共生社会の実現にむけて、授業改善を中心とした教育活動を推進して課題解決力を育むとともに、個に応じた学習機会の拡大を促す。</p> <p>②部活動、生徒会活動を活性化させ、生徒の自主性、主体性を育む。</p> | <p>①確かな学力育成のために、個に応じた授業実践を行い、基礎学力の定着を図る。「学びなおし」の視点で生徒が達成感を感じられる授業を実践する。インクルーシブ教育を実践し、個に応じた学習指導を行う。</p> <p>②生徒会行事の活性化を図り、引き続き生徒の主体的な活動を支援する。部活動では生徒の自主性、主体性を育み、活動状況を校外に発信し部活動を活性化させる。</p> | <p>①・習熟度別授業や補習により、個別最適な指導を実施する。 ・ICTを効果的に活用して生徒の学習意欲を向上させ、わかりやすい授業を実践する。ICT活用法やTTによる授業実践に関する校内研修を通して、実践力を身に付ける。 ・不登校生徒への対応を強化し、誰一人取り残されない学びの保障に取り組む。</p> <p>②・生徒主体の企画運営に向け指導助言を行い、生徒が達成感や充実感を獲得できるよう支援する。 ・部活動見学を実施し、部活動への積極的な参加を促す。各部の活動状況や大会結果等をホームページ等で校外に発信し、部活動や学校生活の活性化を図る。</p> | <p>①・「生徒による授業評価」の結果により、個別最適な指導ができたか。 ・個人の多様性に合わせて着実な学びを促進することができたか。 ・ICTを活用した授業が増加したか。 ・インクルーシブ教育を実践し、TTによるわかりやすい授業や個別のニーズに配慮した学習指導を実践したか。 ・不登校生徒に丁寧に対応することができたか。</p> <p>②・生徒会行事や部活動を通して、生徒の主体性を育成し、人間力を高め、達成感や充実感を獲得できたか。 ・部活動の活動状況をホームページ等で積極的に発信することができたか。 ・部活動加入率を向上させたか。</p> |
| 2 | 生徒指導・ 支援 | <p>①基本的な生活習慣を確立し、ルールやマナーを自発的に守る生徒の育成を図る。</p> <p>②多様な生徒に対してそれぞれの課題に応じた支援体制を構築する。</p> | <p>①規律意識の醸成を図り、問題行動の未然防止に取り組み、生徒の自律を促す。</p> <p>②・きめ細やかな生徒指導・支援と生徒把握に努め、諸問題の未然防止を図るとともに、課題解決のために全職員で協力して対応する。 ・多様な生徒に対応するため、より一層精力的にSC、SSW、SMや学校外の教育機関と連携して教育相談体制を充実させる。</p> | <p>①教職員間で生徒の情報共有を密に行い、生徒への積極的な働きかけにより、規律意識を高め、生徒の自律を促す。</p> <p>②・生徒へのこまめな声かけや面談を通して心身の変化に気づき、困り感を聞き取る等、速やかな課題解決を図る。 ・担任、学年、SC、SSW、SM、相談コーディネーターとともに外部機関との連携を深め、生徒一人ひとりの課題に対応し、ケース会議を開く等、組織的な支援を行う。 ・共生社会の実現に向けて校内のUD化を図る。</p> | <p>①・特別指導、学年指導、近隣からの苦情に迅速に対応することができたか。 ・登下校時や自転車利用のマナー向上が見られたか。 ・生徒の自律性の向上が見られたか。</p> <p>②・SC、SSW、SMと生徒、保護者との面談回数は増加したか。 ・外部の相談機関等と連携し、効果的な生徒支援ができたか。 ・ケース会議を適切に開催し迅速に対応できたか。 ・校内のUD化を促進できたか。</p> |

| | 視点 | 4年間の目標 (令和6年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|--------------|--|--|---|--|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 3 | 進路指導・支援 | <p>①一人ひとりのキャリア発達のために、社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度を育てる。</p> <p>②自己理解の深化と自己受容や勤労感、職業観の確立を目指し、進路指導の充実を図る。</p> | <p>①生徒一人ひとりが自らの良さに気づくとともに資質・能力を伸ばし、個々の適正に合った進路実現ができるよう細やかな進路指導・支援を行う。</p> <p>②インクルーシブ教育実践推進校として、生徒の進路実現に向け、計画的な情報提供と進路支援を行う。</p> | <p>①「総合的な探究の時間」を通して自己理解や課題解決力を育む。 ・ガイダンス機能を充実させ、生徒が多様な生き方やあり方を考え、将来の進路選択につながる指導を行う。 ・外部模試等を活用して生徒が学習成果を振り返り、上級学校等へ進学する学力を身につけられるよう支援する。</p> <p>②インターンシップ受け入れ事業所を開拓し、キャリア教育や進路選択につなげる体制を整備する。</p> | <p>①「総合的な探究の時間」を目標と計画に基づき実施できたか。 ・進路面談や学年集会等の中で、情報提供するとともに社会や世界の変化を意識した指導ができたか。</p> <p>②受け入れ先の事業所を開拓し、キャリア教育の支援体制を整えることができたか。</p> |
| 4 | 地域等との協働 | <p>①地域・保護者等との連携・協働を推進し、信頼される学校づくりに取り組む。</p> | <p>①生徒の活動を積極的に発信し、本校の教育活動の理解と信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②インクルーシブ教育推進実践校として、説明会等とおして取り組みを周知する。</p> <p>③PTA 活動やボランティア活動、また地域との連携・協働をとおして、生徒の社会性を育む。</p> | <p>①ホームページの充実を図り、学校説明会等で本校の魅力、特色を積極的に発信する。</p> <p>②インクルーシブ教育について学校説明会やホームページで発信し、地域との関係施設と連携し、進路実現に向けた協力体制を整備する。</p> <p>③PTA と連携してボランティア活動や行事の活性化を図り、地域行事への参加を通して地域との交流を深める。</p> | <p>①本校の魅力、特色を適切かつ速やかに広報できたか。</p> <p>②・インクルーシブ教育について効果的に広報し関係施設等と連携できたか。 ・PTA と密に連携できたか。</p> <p>③地域主催の行事への参加を通して、地域に貢献することができたか。</p> |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <p>①学校運営に関して保護者や地域住民等の意向を反映して協力を得るとともに、学校安全管理を組織的に推進する。</p> <p>②事故・不祥事防止対策を徹底する。</p> <p>③働き方改革、ICT 利活用等により教育環境の整備を進め、円滑な学校運営を実施する。</p> | <p>①研修等で生徒、職員の防災意識をさらに高め、地域と連携した防災訓練を通じ、防災体制を構築する。</p> <p>②・成績処理や個人情報への扱い、体罰等による事故・不祥事防止を徹底する。 ・私費会計処理を計画的かつ適切に行う。</p> <p>③・教育活動全般でのICT活用と学校運営の情報化を図ることにより、業務改善と働き方改革を進める。 ・業務の見直しを図り、スクラップ&ビルドを進める。</p> | <p>①危機管理等マニュアルを見直し、地域と連携した防災訓練を行い、組織的な防災体制を整える。</p> <p>②・教務内規、成績処理マニュアル等に基づいて、業務を行うとともに、複数による点検を徹底する。 ・財務事務調査指導結果を職員間で共有し業務改善する。</p> <p>③・ICT 活用に関する研修を複数回実施し、教育活動や業務の情報化を進める。 ・必要のない業務について積極的に提案し、業務削減を図る。</p> | <p>①危機管理等マニュアルを見直し、共有できたか。</p> <p>②・入選業務や成績処理で効率化を進め、無事故を達成できたか。 ・適正な収支管理が行われていたか。</p> <p>③・ICT 活用に関する研修を実施したか。 ・情報化推進により、教育活動や学校運営の効率化を図り、必要のない業務が削減できたか。</p> |